

わかすぎ

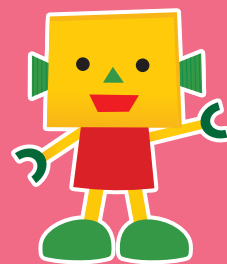
vol. 152

2026. 6



公益財団法人
三重こどもわかもの育成財団
三重県立みえこどもの城指定管理者

〒515-0054
三重県松阪市立野町1291
中部台運動公園内
TEL0598-23-7735 FAX0598-23-7792
ホームページ <https://www.mie-cc.or.jp>



財団のシンボルマーク

地域社会の大きな枝葉が、子どもや若者や家族を温かく包み込むように支えるマークとなっています。中心の円の三色はそれぞれ黄色は「子ども」、橙色は「若者」、青色は「家族」を表しており、地域社会とともに育成支援をしていこうという当財団の思いを表しています。

令和7年度で47回目となった中学生のメッセージは、県内76校から11,750点にのぼる作品の応募がありました。今回もそのたくさんの中学生の思いを代表して、14名の皆さんが発表を行い、仲間や身近な大人、社会に向けて発信しました。併せて、司会、受付など大会全体の運営を主体となって行ってくれた三河地区の中学生の活躍には、来場された皆さまから、たくさんの感謝の声をいただきました。また四日市市立羽津中学校音楽部による合唱の実践発表のフレッシュで美しい歌声に大きな拍手が寄せられるなど素晴らしい大会になりました。

令和8年度は、南勢志摩地区(伊勢市)で開催予定です。



中学生のメッセージ2025 受賞者一覧



国立青少年教育振興機構努力賞受賞

家族で乗り越えた半年間

たけした あおい
竹下 葵さん 名張市立桔梗が丘中学校 2年

最優秀賞を受賞すると思わなかったので驚きました。緊張しましたが、自分の発表を皆さんに伝えることができてよかったです。自分の悲しかったこと、つらかったことを様々な人に伝えることで同じように悩んでいる人の力になればと思います。



最優秀賞の竹下葵さんの作文は、財団ホームページ (<http://www.mie-cc.or.jp/ikuseihp>) に掲載しています。



一步踏み出して

うち だ えい せい
内田 英惺さん 鈴鹿中等教育学校 2年

愛情の反対

はし もと はるか
橋本 悠さん 鈴鹿市立大木中学校 2年

令和の米騒動から考える

まつ なが ゆい と
松永 結斗さん 菰野町立八風中学校 3年



僕の防災意識

かめ しま り お
亀島 琉桜さん 菰野町立八風中学校 2年

今を大切に

かわ ぐち さ な
川口 佐奈さん 朝日町立朝日中学校 3年

コロナ禍で抱いた感情

すず き ね ね
鈴木 寧々さん 伊勢市立二見中学校 3年

私が輝ける場所

たま き み ゆう
玉木 心結さん 津市立香海中学校 1年

性別はプラスアルファ

てら しま はな
寺島 花さん 松阪市立殿町中学校 2年

難聴児について

なか むら そう た
中村 宗太さん 木曽岬町立木曾岬中学校 2年

勝手なイメージで決めつけないで

なか むら はる き
中村 暖希さん 松阪市立鎌田中学校 3年

私を動かす大切な言葉

にし おか はな か
西岡 花佳さん 名張市立名張中学校 3年

「いい子だね」って言わないで

にし ぐち ま ゆき
西口 真由季さん 名張市立北中学校 3年

「先入観による差別」

みなみ りん
南 凜さん 御浜町立御浜中学校 2年



運営協力中学校

司会・受付・案内
表彰アシスタント

川越町立川越中学校、菰野町立菰野中学校
菰野町立八風中学校、朝日町立朝日中学校

実践発表

四日市市立羽津中学校音楽部(合唱)

デザイン画協力

菰野町立菰野中学校、菰野町立八風中学校
朝日町立朝日中学校、川越町立川越中学校

デザイン画
最優秀賞

朝日町立朝日中学校 3年
廣谷 咲那さん

開催地区の中学生による運営



受付



案内



司会



表彰アシスタント

開催地区の中学生による実践発表



合唱(四日市市立羽津中学校 音楽部)



四日市市立羽津中学校音楽部のみなさん

開催地区の中学生による デザイン画展



最優秀賞 朝日町立朝日中学校 3年 廣谷咲那さんの
作品が大会プログラムの表紙を飾りました。

大人からの応援メッセージ展



川越町長をはじめ、協賛企業・団体様から
応援メッセージをいただきました。

審査委員 (※敬称略、順不同)

審査委員長 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 理事 長島 りょうがん

審査委員	三重テレビ放送株式会社 常務取締役 菰野町教育委員会 教育長 朝日町教育委員会 教育長 三重県小中学校長会 副会長 (四日市市立塩浜中学校 校長)	間野 丈夫 北口 幸弘 坂口 喜久夫 市森 幸子	三重県PTA連合会 元常務理事 三重県私学協会 (四日市メリノール学院中学校・高等学校 教頭) 三重県教職員組合 中央執行副委員長 三重県子ども・福祉部 次長	松田 勉 後藤 美香 本田 実 高山 功太
------	---	-----------------------------------	---	--------------------------------

ご協力いただいた企業・団体様 (※五十音順、敬称略)

株式会社アーステックAGAWA、株式会社暁興産、朝明商工会、株式会社朝日電機工作所、伊井運輸株式会社、伊賀ふるさと農業協同組合、石川商事株式会社
イセツ株式会社、伊勢農業協同組合、イナガキ産業株式会社、EIGHT CONSULTING、株式会社エコムクリエーション、有限会社エム.エム.ディ、大川運輸倉庫株式会社
株式会社オールラウンドプロデュース、有限会社岡井博進堂、岡三証券株式会社津支店、株式会社かじり、紙小津産業株式会社、株式会社川越電気、紀北信用金庫
株式会社さぎゅーとら、グッディ、桑名三重信用金庫、特定非営利活動法人元気アップこものスポーツクラブ、株式会社光和電機製作所、コスモベリーズ松阪店
菰野町商工会、こまめりメソッドジャパン三重、株式会社三十三銀行、株式会社松栄、株式会社JERA川越火力発電所、株式会社翠豊園、有限会社せいほう自動車
瀬古食品有限会社、多気郡農業協同組合、竹輝銅庵JSJT.CO.,LTD.、株式会社中部プラントサービス、株式会社、東海労働金庫、登記・測量山田事務所
東邦液化ガス株式会社三重支店、東洋電機株式会社、有限会社トータルインテリアタグチ、株式会社内外製粉、株式会社内藤、日軽メタル株式会社川越工場
野村證券株式会社津支店、パイロットインキ株式会社、合資会社早川酒造部、株式会社日之出、株式会社百五銀行、株式会社ふくた、藤原工業株式会社
有限会社プラスサポート、保険企画サポート24、株式会社雅臣、松岡建設株式会社、有限会社松輝製網、株式会社松阪電子計算センター、三重北農業協同組合
三重郡更生保護女性の会、公益社団法人三重県医師会、公益社団法人三重県歯科医師会、特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会、三重県信用農業協同組合連合会
一般社団法人三重県薬剤師会、三重交通株式会社、三重コンニクス株式会社、三重保護司会、株式会社ミツボン、南建設有限会社、ミライリスホールディングス株式会社
森岡産業株式会社、有限会社山室石油、有限会社豊商会、株式会社養三、養三興業株式会社、四日市梱包株式会社、社会福祉法人よつば会、株式会社リンクフジカワ

………… みえこどもの城「キッズスタッフ」 ……………

～ みんなで柔軟に考える、レベルアップした企画会議 ～

子どもたちがイベントを企画し、運営し、参加するキッズスタッフ。5年目に突入した今年は「どうすれば人がたくさん集まるのかな？」という声をきっかけに、子どもたち自身が考え、試行錯誤を重ねた1年となりました。

1 みんながあそべる企画会議

「じゃんけん」や「おりがみ」など、親しみやすいあそびを取り入れ、年齢に関係なく自然に輪に入れるイベントを企画。企画会議が、「自分のやりたいことを発表する場」から「みんなで考えるイベントづくりの場」へと大きく変化しました。

2 キッズスタッフの広報

広く周知するため、企画会議などの活動を全て来館者から見えやすい場所で実施しました。YouTubeで自分たちで収録した「ラジオ番組」を配信開始！館外へ向けた発信にも新たにチャレンジしています。

【オレンジラジオ】



【にじいろラジオ】



3 その場にに合わせて動くイベント運営

用意したあそびの中から人数や雰囲気に合わせて内容を変更し、進行は子どもたち自身が柔軟に考えました。

8期【なんでもあり!? おたのしみ会】



9期【年末あそびおさめ！大パーティー】



4 活動の場を広げたイベント参加

自主企画だけでなく、館の大型イベントにも運営スタッフとして参加しました。参加者から「しっかりしたスタッフさんやね」といった声をいただき、子どもたちの自信にもつながりました。



【担当スタッフの感想】

子どもたちは、自分たちで考え、行動する力を着実に伸ばしています。

ラジオ配信では、「友達や先生が見てくれた！」「家族から連絡きた！」と嬉しそうに話す様子も見られ、発信することの楽しさや手応えを感じています。

未来のキッズスタッフが増えていくよう、これからも子どもたちと活動を発展させていきたいです。

第4回 高校生☆プラネタリウムコンテスト 令和8年3月15日(日)

4回目となった高校生プラネタリウムコンテストに、8組33名の高校生が参加。
毎年参加の高校でも、チーム編成を変えたり、演出の方向性を思い切って変えたりと、チャレンジ精神や熱意の高まりが感じられる大会になり、試行錯誤を重ねた個性豊かな作品が出そろいました。

審査員からは「全員が新しいことを勉強し、努力を重ね、切磋琢磨してきた成果が出ていた」といった高い評価とともに、考察や探求の姿勢、体験の大切さなど今後に向けたアドバイスもありました。

コンテストを終えて、高校生からは、他校の発表や審査員の講評から受けた刺激や学び、仲間と協力して挑戦した経験の大切さなど今回得られたことが語られ、これを今後活かしていきたい、といった力強い言葉も多く聞かれるなど受け止める力や向上心の高さが印象に残る大会になりました。

◆参加校：桑名高等学校、上野高等学校、松阪高等学校、高田高等学校、三重高等学校

◆後援：三重県、三重県教育委員会

◆協力：三重県スーパーサイエンスハイスクール指定校

◆審査員：国立大学法人三重大学教育学部 教授 伊藤信成

※敬称略・順不同

天文研究家 あさだ考房代表 浅田英夫

元三重県総合博物館 館長 大野照文

三重県教育委員会 教育長 福永和伸

児童文学作家 村上しいこ



受賞名	高校名	作品タイトル
地球科学・環境部門 最優秀賞	三重高等学校 科学技術部	松名瀬干潟にいる鳥
宇宙・星空(天文)部門 最優秀賞	三重高等学校 放送部	天秤に懸かる
特別賞	桑名高等学校 MIRAI研究所	見つけよう、隠された星々！

サイエンスフェア2025 令和7年11月9日(日)

◆参加人数：622名 ◆参加校：2校

松阪高等学校・上野高等学校の学生35名が6つのワークショップを子どもたちに提供、サイエンスの面白さを届けました。移動式プラネタリウムを使った星座解説や、たくさんのじゃこの中から見つけた海の生物の調査、スライムづくり。一口にサイエンスといっても、全く異なる体験に「あれもこれもやりたい」子どもたち、「もっとおもしろさを伝えたい」当日まで試行錯誤を重ねた高校生、高校生がより深い学びと出会い、子どもたちが「サイエンスの楽しさ」に出会えた一日でした。



サイエンスひろば 令和7年8月2日(土)

◆参加人数：2,087名

◆参加企業・団体・学校：7団体(48名)

三重県総合博物館、株式会社サンエル、WDB株式会社エウレカ社、三重中学校・三重高等学校
みえこどもの城ボランティア

令和7年度の「サイエンスひろば」は三重中学校・三重高等学校科学技術部の学生が県内の企業等と一緒に、子どもたちに楽しく不思議な科学実験や生物調査、工作などの体験を届けました。

学生からは「自分が学習してきたことを子どもたちに伝えることで、より深く学べた」「企業の方の優しく手際のいい教え方が勉強になった」などの感想が寄せられており、子どもたちだけでなく学生にとっても学びの多い体験になったようです。



するするのぼるカヤネズミをつくらう



松名瀬干潟のタッチプール



光るスーパーボールを作ろう

第12回

キッズ☆おしごと広場

令和7年6月21日(土)、22日(日)、28日(土)、29日(日)

12回目の「キッズ☆おしごと広場」は、30種類のおしごと体験を4日間に分けて開催しました。体験した子どもたちからは、「警察官の大変さがわかり感謝の気持ちがわいた」「橋の秘密を知って楽しく体験できた」「仕事は緊張したけどすごく楽しかった」など、おしごと体験を通してたくさんのことを見つけてくれました。

◆参加人数：1,492名

◆協力企業・団体：30企業・団体

◆協力企業・団体スタッフ：156名

◆学生ボランティア：73名



【学生ボランティア】

皇學館大学、鈴鹿大学短期大学部、高田短期大学、三重大学

学生ボランティアからは、「企業さんが自分の仕事について楽しそうに話していて、自分もそうなりたと思った」「体験に参加した子どもたちが積極的で元気をもらえました」、また、企業・団体の皆さんからは、「将来は消防士になりたいという言葉も何度か聞くことができ、イベントの必要性を感じた」「将来を担う子どもたちと触れ合えるイベントは企業にとってもとても有意義なイベントだと感じた」「学生ボランティアの子どもたちへの対応、言葉使いが優しく丁寧で良かった」といった声が聞かれるなど企業の皆さんと子ども・若者との将来につながる交流が実現しました。



【参加企業・団体】 五十音順・敬称略



株式会社あかり屋、旭電気株式会社、旭美容専門学校、イセツ株式会社、有限会社上野屋、宇野重工株式会社、株式会社エスト、岡三証券株式会社、有限会社ケアステーションたきび、株式会社三十三銀行、株式会社JPF松阪事業所、下津醤油株式会社、有限会社深緑茶房、社会福祉法人長寿会なでしこ苑、野村證券株式会社、株式会社はぐみ、万協製菓株式会社、株式会社ボンタイム、松阪飯南森林組合&三重県松阪農林事務所、松阪警察署、松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社、松阪市民病院、松阪地区広域消防組合、松阪中消防署、公益社団法人三重県歯科医師会、特定非営利活動法人三重県歯科衛生士会松阪支部、社会福祉法人三重県社会福祉協議会、一般社団法人三重県助産師会、一般社団法人三重県理学療法士会、三重コニックス株式会社、株式会社ミツイパウ・マテリアル

伊勢茶を楽しん茶お!

令和7年10月12日(日)

三重県産「伊勢茶」について、焙煎とおいしい淹れ方の体験、高田短期大学の学生さんによる絵本の読み聞かせと茶摘みの手遊び歌や、お茶にまつわるゲームなどを楽しみました。飯南高校美術部の「伊勢茶ラテアート」の実演の他、お茶の飲み比べ、手もみ体験など、お茶について深く知ることのできた一日でした。

◆参加人数：584名

◆協力企業・団体：6企業・団体

◆協力企業・団体スタッフ：26名

◆学生ボランティア：7名

●共催：NPO法人日本cha茶ちゃ

●協力：飯南高校美術部、高田短期大学、落合刃物工業株式会社、三重県茶業会議所

●後援：伊勢茶推進協議会



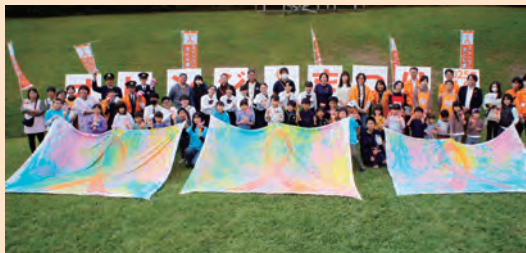
キックオフイベント「オレンジまつり」令和7年11月1日(土)

オレンジリボンキャンペーンのキックオフイベントは13回目。子ども虐待防止のメッセージの伝達、三重中学校・三重高等学校合唱部によるステージ発表と続いた後は、来館した子どもたちが「みずでっぼうアート」で大きなオレンジリボンを完成させました。また、県内各地の企業・団体の皆さんによるお楽しみブースや、飲食のふるまいなど、「子どもたちを守る」という地域の皆さんの思いとともにキャンペーンがスタートしました。

◆参加人数：1,700名 ◆協力企業・団体：12企業・団体 ◆協力企業・団体スタッフ：51名

協力企業・団体

いなべ市青少年育成市民会議／放課後子ども教室「ほくせい」、尾鷲市青少年育成市民会議、株式会社三十三銀行、日本土木工業株式会社、株式会社ボンタイム、特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター、三重県警察本部、公益社団法人三重県歯科医師会、一般社団法人三重県助産師会、三重中学校・三重高等学校合唱部、みえこどもの城ボランティア「はぐくみ隊」、みえこどもの城キッズスタッフ



月間キャンペーン 令和7年11月1日(土)～30日(日)

啓発パネルコーナー

三重県内の虐待防止に関する情報や、子どもを守る組織や団体の紹介、啓発パンフレット等を設置し、児童虐待防止に向けた啓発を実施しました。

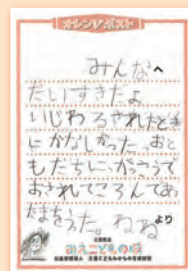
オレンジポスト

●期間中に届いた手紙：213通

子どもの心の内にある思いや、直接は言いにくいこと、誰かに聞いてほしいこと、嬉しかったこと、悲しかったことを手紙に書いて、オレンジポストに投函してもらい、館内に掲示しました。



オレンジポスト



まつさかペットボトルロケット大会

令和8年1月12日(月・祝)

共催：松阪市教育委員会、(一社)松阪青年会議所

松阪市内の小学校6チーム、県内(こどもの城所管)5チーム、合計11チーム・28名で大会を実施しました。

ペットボトルロケットは、デザインもすべて子どもたちが考え、事前に計画・制作を行いました。こどもの城所管の5チームは、三重中・高等学校の科学技術部の生徒と協力しながら、制作や試し打ちに取り組みました!



当日は、発射台トラブルや風向きなど、さまざまな課題が発生しましたが、懸命に修正に取り組む子どもたちの姿に、審査員からは、「考え、努力し、今日のように実際に体験することは大切。続けてほしい」と、子どもたちの未来へ向けた温かいメッセージが送られました。

平日の親子ふれあいイベント

こどもの城では、地域で活躍されている講師、団体の皆さんのご協力をいただきながら、令和7年度も乳幼児と家族の居場所としてさまざまな取組を行いました。

「ファーストアート」や「ベビーフォト」で子どもの‘初めて’を一緒に体験し、大切に記録に残す家族。生演奏に触れる音楽会や楽しく体を動かす体操でしっかりと向き合う親子。

子どもの成長に目を細めながら、家族ぐるみで交流する時間がゆったりとあたたかく感じられます。

助産師さんの子育て相談コーナーでは、身長、体重を測ってもらったり、子育ての心配事を相談したり。

令和8年度からは、子育て相談コーナーにはイベントごとに助産師、栄養士、保健師といった専門の方たちに入っています。

ファーストアート

名前のとおり、子どもにとって初めてのアート体験。手形足形スタンプや絵の具を使った作品にその瞬間の子どもと家族の記録が残せました。



ベビーフォト

年間4種類、季節に合わせたフォトブース。季節ごとに来館され、思い出を大切に収めておられるたくさんの方の家族にお会いします。



赤ちゃん和妈妈のための♪小さな音楽会

泣いても、声を出しても大丈夫！0歳から楽しめる生演奏のコンサート。童謡や古き良き日本の音楽からクラシックまで、いろんな音楽を楽しんでいます。



音楽でふれあい遊び♪

生演奏、生歌に合わせて身体を動かしながら、親子で一緒に音楽を楽しみます。親子でふれあう場面では、とびきりの笑顔があふれています。



親子のためのリフレッシュ体操

親子でふれあい楽しみながら身体を動かします。ジャンプしたり、トンネルをくぐったり…たくさん動いて心も身体もスッキリ。回を重ねるごとにできる動きが増えていく子どもたちの成長の早さに驚かされます。



助産師さんの子育て相談コーナー

赤ちゃんの身長体重を測って、成長や健康状態を見てもらったり、授乳や離乳食の相談をしたり、子育ての悩みについて、気軽に専門家からアドバイスが聞けます。



新たな親子向けイベントを行いました

令和7年12月～令和8年2月の土日、ひみつきち(ログハウス)で『あそびひろば』や『赤ちゃんサーキット』といったイベントを実施しました。たくさん子どもたちで賑わう『あそびひろば』では、年齢や住む地域が違う子どもたちが友だちになって遊び、『赤ちゃんサーキット』では遊びを家族ぐるみで一緒に楽しむなど、さまざまな交流が生まれるあたたかい場所になりました。

「広い場所で、家だとできないことをできるのがいい」「大きい子たちに遊んでもらって楽しそう」といったご家族の声もたくさん届けられました。

あそびひろば

ミニクライミングやおうちブロック、木製おもちゃ、おえかきなど、子どもたちがそこにあるものを使って遊びを工夫し、挑戦しました。特におうちブロック(ソフトブロック)は大人気で、お城をつくったり、ブロックをコーヒーやお花に見立てたりと、スタッフもその豊かな想像力、発想力に驚くばかり。

ブロックを積み上げて手が届かなくなったら、背伸びして、その次は大きなブロックを踏み台にして、最後は大人に補助を頼んで…「できた！」の顔は達成した喜びにあふれ、さっそくごっこ遊びも始まっていました。

人気のおもちゃはみんなが遊びたくなりますが、子どもたちは譲り合ったり、一緒に作ったりしながら友だちになって楽しめます。

また、赤ちゃんがやってきたことに気づいた小学生が「赤ちゃんいるから気を付けよう」と声掛けをしたり、伝い歩きができるようにブロックで道を作ったり、ミニクライミングに挑戦している小さい子にはヒントになるようにゆっくりのぼって見せたり。

幅広い年齢の子どもたちが互いを思いやり、考え、行動することで、子どもたちによる子どもたちの居場所が完成していました。



赤ちゃんサーキット

乳幼児が身体を動かして遊ぶことのできるイベントとして、赤ちゃんサーキットを開催しました。

たくさんの障害物は子どものいろいろな動きのきっかけになるように工夫したもので、ハイハイでトンネルをくぐる、ビニールテープのカーテンをくぐり抜ける、スポンジボールをつかんで穴に落とす、背伸びで風船にタッチ、ハードルをジャンプで超えるなど、身体を動かすことが楽しくてしかたない様子の子もたち。

友だちの様子を見ながら遊び方を覚えたり、最初は難しくても何度も挑戦してできるようになったり、赤ちゃんが少しずつ成長する様子も見えます。同じくらいの年齢の子ども同士、また家族ぐるみで交流できる親子の居場所になりました。



虹のトンネル



ビニールテープのカーテン



スポンジボール

移動児童館

みえこどもの城は県内唯一の大型児童館として、放課後児童クラブ、放課後デイサービス、子ども会などに工作や運動あそびなどを届ける「移動児童館」を実施しています。令和7年度は、99回、約39,000人の利用をいただきました。

実施した施設などからのアンケートでも、「オリジナルの版画スタンプをみんなで押し合いっこするなど大喜びでした」「作ったコマを回すタイムを友達と競い合っとても盛り上がっていました」など子どもたちが本当に楽しんで参加してくれていたことが伝わりました。

今後も県内各地で、より多くの子どものあそびや体験の機会を届けます。



工作(光のチューブ)



松阪 氏郷まつり

出張版キッズ☆おしごと広場 in 児童館

- 令和8年2月28日(土) 鈴鹿市一ノ宮団地児童センター(株式会社ボンタイム)
- 令和8年3月21日(土) 川越町つばめ児童館(有限会社深緑茶房)

“こどもの城は遠くてなかなか行けない”という子どもたちに、身近な地域の児童館でこどもの城の人気体験企画「キッズ☆おしごと広場」を実施しました。

子どもたちはおしごとをして作ったものに家族へのメッセージを添えて大切に持ち帰っていました。また児童館の職員さんにも「児童館を知ってもらう良い機会になった」という声をいただきました。

参加企業のご理解ご協力のもと、今後も県内各地域に出かけて、より多くの子どものためにさまざまな体験を届けます。



お菓子作り



お茶屋さんのお仕事



海辺の生き物観察会

令和7年7月25日(金)

共催：西黒部まちづくり協議会 協力：浦島休憩所、三重中学校・三重高等学校

全国的にも貴重な環境が揃う松名瀬干潟での「海辺の生き物観察会」。

42人の親子と、この場所をフィールドに部活動などで調査や研究を行っている三重中学校・三重高等学校科学技術部の生徒18名が参加して実施しました。

中高生は子どもたちに生き物の説明をする先生。潮の満ち引きに合わせて、観察場所を移動していくと、それぞれの場所で見られる生き物が変わり、子どもたちは見たことのない生き物を見つけると中高生のもとへ「なにこれ!？」と走って見せに行ったり、「えびかな?」と見たことのあるものから予想をして、優しく教えてもらったり。地元の環境や生き物に興味、関心を持つ機会になりました。

中高生は小さな子どもたちの発見や自由な発想に驚いたり、関心したりしながら、自分たちの持つ知識や思いを伝えることの大切さや面白さ、難しさが感じられたようです。



屋外での新たな取り組み

令和7年12月～令和8年2月の3か月間、大規模改修工事の休館期間に屋外や館外施設で特別イベントを実施しました。県内各地にこどもの城の遊びや体験を届ける「出張みえこどもの城」、遊びながら防災を学ぶイベント「あそぼうさい」、広い場所で体を動かし考えて楽しむ「チャレンジラリー」や「謎解きラリー」などで新たな協働相手との関係づくりをはじめ、各事業の実施意義や必要性を実感できました。今後もこの取り組みを続けていきます。

出張みえこどもの城

- 令和7年12月24日(水) 北勢市民会館
 - 令和8年2月14日(土) 名張市教育センター
 - 令和8年 2月21日(土) 尾鷲市立中央公民館
- 協力：いなべ市青少年育成市民会議、名張市青少年育成市民会議、尾鷲市青少年育成市民会議



普段はこどもの城に足を運びにくい地域の子どもたちに、こどもの城のさまざまな体験や遊びを届けました。移動児童館では県内全域に工作などを持って出かけていますが、「出張みえこどもの城」は工作、カプラ遊び、運動遊び、遊具体験(皿回し、けん玉)、さらには移動式のプラネタリウムを使った星空のお話など、まさに「こどもの城がやってきた！」というイベントになりました。

少しでも多くの子どもたちや子どもに関わる地域の皆さんにこどもの城を知ってもらい、その魅力に触れてもらうきっかけとして、そして、たくさんの体験を届ける取組として、今後も県内各地に続けます。



あそぼうさい

「防災」をテーマに、いざという時に必要となる防災食や防災グッズを体験し、被災時の行動を学ぶことで、災害に備える意識の大切さ、必要なもの、具体的な動きなどを家族で考え、話し合うきっかけとなるイベントとして3回のシリーズで実施しました。

【第1回】令和7年12月7日(日) テントを組み立てよう

いざという時のために家族で力を合わせてテントを立てる体験をしました。用途ごとに異なるテントの工夫に気づくなど、貴重な体験になりました。

【第2回】令和8年1月11日(日) 身近なものであそぼう

災害時は誰もが心身に負担を抱えます。被災した際、特に子どもの心や体を守るために「遊び」は大切です。子どもたちの笑顔に改めて実感した体験でした。

【第3回】令和8年2月15日(日) 防災食を体験しよう

防災食を作って食べる体験をしました。ビニール袋でご飯を炊くなど、普段食べ慣れているもので災害に備える大切さや方法を学び、災害時に活躍するキッチンカーでの炊き出しも体験しました。



協力企業・団体：株式会社はぐみ、ヤマモリ株式会社、こどもの城ボランティア、はぐくみ隊、三重県児童館連絡協議会、三重県

チャレンジラリー

- 令和7年12月14日(日)
- 参加者 66名

寒い冬だからこそ！大声で叫んだり、大玉転がしや段ボール積みでスピードを競ったりと、屋外ならではの遊びに挑戦！みんなでくたくたになるまで遊び尽くした、元気いっぱい的一天になりました。



謎解きラリー

- 令和8年3月20日(金・祝)
- 参加者 101名

多数寄せられた館内アンケートの声に応じて、こどもの城では初となる本格的な謎解きイベント「謎解きラリー」を開催しました。家族で力を合わせて賑やかに挑戦したり、一人でじっくり考えながら謎に向き合ったり、子どもたちそれぞれのスタイルで楽しみました。



SWS 西日本キッズシアター (ドームシアター プラネタリウム)

宇宙学校・まつさか 令和8年1月11日(月)

スタッフの生解説による星空案内や迫力満点の全天周映像を楽しめるドームシアター プラネタリウムで、JAXAの協力による特別イベントを開催しました。

「宇宙学校」は、子どもたちに宇宙科学に対する理解を深めてもらうことを目的に、JAXAの研究者が、それぞれの研究分野をわかりやすく説明するもので、三重県では約10年ぶりの開催となりました。

今回は、2名の研究者による「ロケットと、ロケットが行く地球に近い宇宙」「地球を離れてさらに遠くの太陽系を目指す探査機」についての40分ずつのお話でした。4歳から中学3年生まで幅広い年齢の参加があり、子どもたちみんなが集中して聞いていました。また、お話の内容に沿った質問をしていて、子どもたちの好奇心や知識欲が感じられるイベントになりました。

「宇宙の研究者になりたい」「ブラックホールの研究がおもしろそう」といった感想が寄せられたり、他の子どもから受ける刺激が見て取れたり、これから星や宇宙をもっと好きになってくれる子どもたちが増えたようで嬉しかったです。

宇宙科学や天文分野への興味・関心を高めるだけでなく、専門家から直接話を聞くという体験をとおして、将来の夢や憧れ、職業や目標へ向けてのやる気や希望をもつ大きな機会になりました。



講演の様子(講師への質問タイム)



講演後ホワイエにて、質問受付

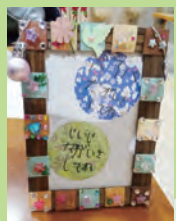
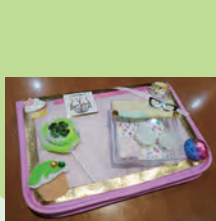
アート・サイエンススペース

アート・サイエンススペースでは、子どもの個性や意欲を大切に、より自由な創作活動の場の提供や、創作をとおした子ども同士の交流を大切にできるよう、工夫しながらさまざまなメニューを提供しています。

特に、子ども自身が材料を選び、完成をイメージして制作にチャレンジする「アートフェア」、来館した子どもたちが力を合わせて大きな作品を完成させる「共同制作」は、感性や器用さだけでなく、粘り強さ、コミュニケーション力など、子ども一人ひとりの力が発揮される場になっています。

他にも、身近な科学工作を楽しむ実験サイエンスや、地域の専門家と協働した電子工作・陶芸教室など、より子どもたちの探求心、挑戦心に働きかけるメニューなど多彩に提供しています。

アートフェア



共同制作



大きな布の上で、えのぐのついたボールをコロコロと動かします。



プレイランド (クライミングウォール&遊具コーナー)

クライミングウォール

児童館では全国最大級を誇るクライミングウォール。今年度、これまで続いた「クライミング選手権」を、より一層クライミングの楽しさを感じられる内容にリニューアルし、「チャレンジ大会」として開催しました。

「初めての大会で緊張しましたが、楽しく、最後までチャレンジできたので参加してよかった」「みんなで応援する雰囲気が良かった」など、緊張の中にも、挑戦することの楽しさを感じてもらえる大会となりました。



遊具コーナー

広いスペースと大きな滑り台で人気の遊具コーナーが、令和8年3月、さらに楽しく生まれ変わりました。今回の目玉は、壁一面に広がる「ブロック遊び」のエリア。2種類のカラフルなブロックを使って、壁全体をキャンバスに自由な作品を作ることができます。



リニューアル以来、壁の前は一生懸命に作品を作るご家族で賑わっています。スタッフも毎日ワクワクしながら、子どもたちの個性あふれる作品に出会えることを楽しみにしています。

イベントホール

「いつ来ても楽しめる」イベントホールをめざして、令和7年度からイベントの準備期間を短縮したり、開催時間を延長したりと、より多くの子どもたちに楽しんでもらえるよう工夫しました。

ミッションは、広いホールを活かした、体をたくさん動かす遊び、映像を使ったゲームなどが新登場。チャレンジする子どもたちの元気な声からワクワク・ドキドキが伝わります。



4月26日
～5月11日
おたのしみ水族館



6月7日
～9月23日
なんかようかい!?
運動会



10月11日
～11月24日
令和7年度
こども消費者教育事業
かえっこキッズタウン
～お金のやくわりを
まなぼう!～



R8.3月1日
～5月10日
からだアタマ大冒険!
ワクワクひろば

行こう児童館 ～赤ちゃんから高校生まで児童館はみんなのあそび場・居場所～

全国には約4,500施設の児童館があり、施設の規模や設備等によって小型児童館、児童センター、大型児童館の3種類に分かれています。三重県には、36の児童館があり、みえこどもの城はの中で唯一の大型児童館です。

児童館は、子どもであれば誰でも利用することができる、子どものための施設です。そして、そこでどんな遊びをするかも子どもが自分で決めることができます。児童館にはいつでも子どもや保護者などをサポートしてくれる、専門のスタッフ(児童厚生員)がいます。児童館は、それぞれ工夫をして子どもや親を対象としたさまざまな取組を行っています。その中から県内の2つの児童館の取組をご紹介します。

すばる児童館(津市一身田町)

「サロンピヨ☆ピヨとキャンプ」



乳幼児親子対象の行事としてサロンピヨ☆ピヨを実施しています。リトミック、ベビー&ママヨガ、プール・運動会・ハロウィンなどの季節行事などを通して、子育て支援を行っています。子育ての悩み相談や保護者同士の交流の場ともなっています。

また、小学生対象の行事として野外活動のキャンプを行い、野外炊事(飯ごう炊さん、カレーライスづくり)、アスレチック、ネイチャーゲームなどの活動を行います。自然に親しみ、包丁などの刃物の使い方や火おこしの技術などを楽しみながら学び、グループでの協力・共同活動を体験します。



四日市市立塩浜児童館(四日市市塩浜)

「移動児童館とクラブ活動」

四日市市では日々の児童館活動に加えて、児童館がない地域に出向き、遊びや体験を届ける移動児童館にも力を入れています。依頼先への遊びの指導だけでなく、「移動児童館がやってくる!」と題し、公園や施設で誰でも遊びに参加できるイベントも行っています。



移動児童館の窓口がある塩浜児童館では、人形劇クラブがあり、こどもたちが意見を出し合い積極的に活動しています。市内の児童館全体で「つながる居場所」の拡充に努めています。



活動しています。市内の児童館全体で「つながる居場所」の拡充に努めています。

三重県児童館連絡協議会のとりくみ

県内の児童館は、三重県児童館連絡協議会でつながっています。

協議会では、児童館の職員が多様な知識やスキルを身につけるための研修会のほか、各施設で実践している活動を持ち寄って話し合う交流会も開催しています。交流会では、職員同士で悩み事や自分の施設での取り組みについて話し合ったり、工作メニューを紹介したりして、ノウハウやスキルを共有するとともに児童館職員同士の繋がりを深めています。

研修会、交流会で得た学びや取組は、それぞれの施設の活動に活かされています。



交流会の様子



研修会の様子

令和7年度 公益財団法人三重こどもわかもの育成財団表彰

子ども若者の育成支援にご尽力いただいた方々を表彰しています。
本年度は、個人の部(青少年指導者)6名、団体の部3団体の表彰を行いました。
受賞者の皆さまには、今後益々のご活躍を期待します。

受賞者紹介 ※敬称略

おめでとうございます!



表彰式の記念撮影

個人の部(青少年指導者)		
松阪市	久世 勲	平成21年から松阪市青少年育成市民会議の会長を務め16年間、青少年の健全育成に尽力した。特に「あいさつ運動」を推進し、各中学校を回って実施したことで、多くの中学校が自主的に取り組むようになるなど、多大な貢献をしている。
伊勢市	佐藤 薫	平成14年から現在に至るまで、伊勢市宮川中学校区の青少年健全育成協議会及び伊勢地区少年警察協働員の活動を軸に、20年以上にわたり中心的役割を担い、平成6年からは伊勢市青少年育成市民会議の副会長を務めている。また、調停委員としての活動も行い、地域の皆さんの信頼も厚く、多大な貢献をしている。
伊賀市	奥澤 重久	昭和54年のいが地区青少年を育てる会の結成当初から参画し、平成22年から理事、令和6年からは会長に就任し、40年以上にわたり青少年の育成活動に大きく貢献している。また、環境浄化にも熱心に取り組み、平成17年から伊賀地区防犯協会伊賀支部長、平成20年からは副会長を務めるなど、多年にわたり多大な貢献をしている。
名張市	高田 正	平成13年度から青少年健全育成活動に携わり、平成21年度から名張市青少年育成市民会議の会長として、ジュニアリーダー養成や多様な体験活動を実施した。さらに、令和元年度からの三重県青少年育成市民会議連合会の初代会長として、青少年健全育成活動の普及啓発や各市町民会議との情報交換において、多大な貢献をしている。
紀宝町	浜田 新一	平成11年から紀宝町青少年育成町民会議の前進である鵜殿村青少年育成村民会議に所属し、現在は理事を務めている。小中学校の登校時のあいさつ運動、休みのラジオ体操、子どもバスツアー、こども神輿、非行防止パトロール等、子どもたちがあらゆる世代の人々と、絆を深めることができる交流活動に多大な貢献をしている。
紀宝町	聖谷 定三	平成11年から市町村合併前の紀宝町青少年育成町民会議に所属し、現在は監事を務めている。子どもたちがあらゆる世代の人々との絆を深めることができる体験や交流活動事業を精力的に行い、現在も、夏のバスツアー、夜間パトロール等各種事業に多大な貢献をしている。
団体の部		
伊賀市	いがまち青少年を育てる会	昭和54年の設立時から、いがまち地域において青少年の非行防止及び事故防止、明るい家庭づくりを進めるための活動や青少年のレクリエーション活動に携わっている。長年の積極的な活動と工夫を凝らした内容により、子どもたちの健全育成を図るとともに、広く人づくり・地域づくりに多大な貢献をしている。
尾鷲市	尾鷲市立尾鷲中学校 尾鷲市立尾鷲中学校PTA	平成14年から子どもたちの安心・安全のために関係団体と良好な関係を構築している。夏の花火大会(おわせ港まつり)の夜間パトロール、冬のクリスマス時期の夜間パトロール、2月の尾鷲神社祭礼(ヤーヤー祭り)時のパトロールについては、多くの教職員、PTA会員が自主的に参加し、子どもたちの健全育成・非行防止に多大な貢献をしている。
尾鷲市	三重県立尾鷲高等学校	平成14年からおわせ港まつり、尾鷲神社祭礼など祭りの際の夜間パトロールに多くの教職員が積極的に参加している。また、街頭啓発活動に20人以上の生徒が参加し、市民に積極的に声をかけ、子どもたちの非行防止・健全育成及び子育て世代へのサポートを呼びかけ続けるなど、青少年の健全育成に多大な貢献をしている。

令和7年度

公益財団法人三重こどもわかもの育成財団 決算報告書

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位: 千円)

科 目	当 年 度
I 資産の部	
1. 流動資産	46,339
2. 固定資産	360,998
(1) 基本財産	290,260
(2) 特定資産	69,831
(3) その他固定資産	907
資産合計	407,337
II 負債の部	
1. 流動負債	20,216
2. 固定負債	19,964
負債合計	40,180
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
指定正味財産合計	320,630
(うち基本財産への充当額)	290,260
(うち特定資産への充当額)	30,370
2. 一般正味財産	46,527
(うち特定資産への充当額)	19,497
正味財産合計	367,157
負債及び正味財産合計	407,337

正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位: 千円)

科 目	金 額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	1,563
特定資産運用益	32
受託金	160,913
事業収益	17,231
その他収益	12,242
経常収益計	191,981
(2) 経常費用	
事業費	186,815
児童健全育成事業費	154,594
児童健全育成拠点事業費	13,792
青少年育成事業費	14,248
三重県委託事業費	1,300
収益事業費	2,881
法人管理費	13,239
経常費用計	200,054
評価損益等調整前当期経常増減額	△8,073
損益評価等計	0
当期経常増減額	△8,073
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	0
(2) 経常外費用	0
当期経常外増減額	0
当期一般正味財産増減額	△8,073
一般正味財産期首残高	54,601
一般正味財産期末残高	46,528
II 指定正味財産増減の部	
一般正味財産への振替額	△10,947
当期指定正味財産増減額	△10,947
指定正味財産期首残高	331,577
指定正味財産期末残高	320,630
III 正味財産期末残高	367,158



みえこどもの城第5期指定管理者として指定を受けました

当財団が、みえこどもの城第5期指定管理者(令和8年度～令和12年度)に指定されました。今期は以下のことを大切にしながら、みえこどもの城の運営に取り組みます。

- ◎ 県内唯一の大型児童館として、地域の皆さんや、企業・団体等と連携・協働し、遊びや体験をとおして子どもの豊かな育ちを支えます。
- ◎ 世代や年齢、地域を超えた交流を充実することで、子どもや若者が多様な価値観を身につけて育ち、活躍することのできる居場所を実現します。
- ◎ 来館が困難な子どもたちに向けたアウトリーチ活動を拡大し、県内全域の子どもたちを対象に体験機会の充実をはかります。

より一層のご理解とご指導、ご協力をいただきますようお願いいたします。



「みえこどもの城 利用者満足度」アンケート調査結果について

みえこどもの城では、利用者の皆様の視点に立ったより良い事業・サービスを提供するため、利用者の皆様にアンケートを実施しています。

アンケートでは、利用した子どもの年齢や、利用したブース、満足度などをお聞きしています。

満足度を問う「みえこどもの城は楽しかったですか？」の質問では、令和7年度は97%の利用者が「とても楽しかった」「楽しかった」と回答していただきました。

利用者からは、

「天候に左右されることなく体も動かしながら子どもと遊べるので、とても嬉しいです。」

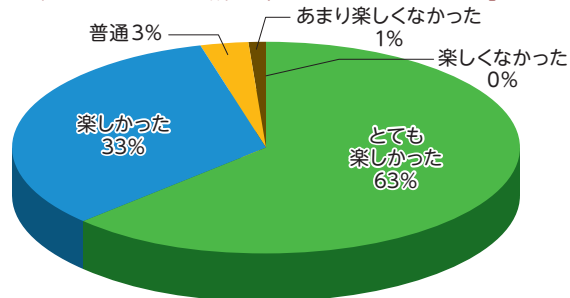
「子どもが興味のあるイベントを沢山していただいてありがとうございます。親子共々、楽しませてもらっています。」などのお声をいただきました。

また、いただいたご意見は、1つ1つしっかりと職員と共有し、今後の体験やイベントに活かしていきたいと思います。

いただいたご意見の一部をご紹介します。

- 普段外へ出たがらない息子が、クライミングのおかげで日曜日に少し外へ出てくれるようになりました。
- 夏の星の解説つきプラネタリウムに初めて参加しました。子どもが目をキラキラさせておもしろかったと興奮していました。
- ボランティアのおじさんが皿まわしなどたくさん教えてくれて子ども達が楽しそうでした。

満足度について
「みえこどもの城は楽しかったですか？」



城に何回ぐらい来館されましたか

